

夫婦の家

建て主ご夫婦は38年前、結婚を機に新築。その後、お子様三人の誕生と成長に伴い増築。時を経て、お子様は独立し、増築した部屋は活用されないままになりました。広間は南側隣地に近接した1階に配置され、隣家により採光が限定されています。広間と台所が離れていることで、採光が届かない和室での食事や団欒が常態化していました。南の庭には子育て時代には必須であったプレファブ倉庫が、役目を終え老朽化して庭を圧迫したままに。既存窓は全て単板ガラスのアルミサッシュで冬場は窓からの冷気を感じるほどでした。このリフォームは、子育て時代の住空間や環境をご夫婦の勇退後の落ち着いた暮らしへ合わせるために行うことになりました。

所在地 : 豊橋市牧野町 延べ面積: 165.62㎡
 築年数 : 38年 改装面積: 141.00㎡
 建て方 : 一戸建 工事期間: 4ヶ月
 構造・階数: 木造、2階建 工事完了: 2016.09



1: 広間南面

既設子供室の床を抜き、吹抜けとしたことで2階の腰窓から採光を得る。ペレットストーブを設置し暖房の一部とする。正面の障子は太鼓張障子で窓の断熱補助と隣家との目隠しを兼ねた。右側の庭を望む窓にも太鼓張障子を設置。広間の窓は全て既存サッシュを活用。



2: 寝室から縁側越しの庭

庭の生垣や芝以外の樹木は再利用。新築時にご主人のご両親より贈られた、以前の玄関先にあった庭石も再利用し庭の核とした。滞緑を既存犬走り上に新設し、庭と室内を緩やかに接続。





3: 外観北

外装は塗装や屋根瓦の修理に留めた。既存ポーチは駐車場に。既存台所をポーチへ転用、壁を取り除き、目隠しのため木格子を設置。既存屋根下へポーチの雨除けと重心を下げるため小庇を追加。



4: アプローチからポーチ



5: 玄関から和室

既存和室の建具を修理して再利用。収納を別に設け以前より広々した玄関。格子は便所引戸の引代でもある。飾棚はベンチとしても利用できる高さに設定。



6: 玄関



7: 外観東

倉庫兼物干場を増築。台所と隣接し勝手口としての機能も担う。



8: 広間東面

広間内に設けた書斎スペース。倉庫兼物干場により目隠しされる。倉庫兼物干場は隣接する広間への採光・通風を妨げない。



9: 広間北面

2階の腰窓を広間への採光・通風に活用するための吹抜けは、空調効率を考慮し2階室上部までの天井高に押えた。端部の窓枠閉用スノコ床や既存梁により重心が下がり、落ち着きを得る。



10: 広間東面



11: 勝手口から広間

台所から勝手口さらに広間へと続く動線。



12: 倉庫兼物干場内部

屋根と壁へ半透明の波板を使用。壁は木格子下地で、波板は南北と東の両端のみに使用。目隠し、採光・通風の調和を図る。



13: 倉庫兼物干場外部北



14: 台所

台所は日当たりのよい東側で、広間と直接連携できる配置とした。



15: 洗面、浴室

洗面は洗濯機置場を外へ出し以前より広々させた。



16: 便所

ポーチに面した便所のプライバシーを守るため、窓の内部は障子を設置、外部へは木格子を取り付けた。



17: 寝室、縁側

縁側の窓も広間同様既存サッシのまま。寝室と縁側間の太鼓張障子を閉じれば、縁側が空気層となり寝室の断熱が向上。



18: 縁側



A



B



C



D



E



F



G



H